

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第44期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社朝日ラバー
【英訳名】	ASAHI RUBBER INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊藤 潤
【本店の所在の場所】	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2
【電話番号】	048(650)6051(代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部長 堀 信幸
【最寄りの連絡場所】	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7番2
【電話番号】	048(650)6051(代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部長 堀 信幸
【縦覧に供する場所】	株式会社朝日ラバー 福島工場 (福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字坊頭窪1番地) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第2四半期連結 累計期間	第44期 第2四半期連結 累計期間	第43期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	2,407,095	2,754,241	4,789,872
経常利益(千円)	64,389	120,407	139,510
四半期(当期)純利益(千円)	40,465	77,559	76,763
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	43,026	156,593	141,407
純資産額(千円)	2,881,128	3,099,578	2,965,789
総資産額(千円)	7,408,926	7,923,177	7,517,409
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	8.90	17.05	16.88
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	38.9	39.1	39.5
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	87,435	86,690	323,741
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	245,814	257,138	550,972
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	178,992	49,808	180,246
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	744,468	570,283	672,476

回次	第43期 第2四半期連結 会計期間	第44期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.77	6.37

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策等により個人消費の持ち直し、円高の是正、株価の好転、また、世界経済の穏やかな回復もあり、国内景気は回復基調で推移いたしました。

このような中、当社グループは、事業領域として自動車・情報通信・医療介護の各分野への経営資源の集中を図り、お客様の視点に立ったものづくりを進めるとともに、独自の開発製品の販売拡大に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は27億5千4百万円（前年同四半期比14.4%増）となり、利益面では、連結営業利益は1億1千9百万円（前年同四半期比35.0%増）、連結経常利益は1億2千万円（前年同四半期比87.0%増）、連結四半期純利益は7千7百万円（前年同四半期比91.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### 工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、自動車産業において、円安により米国向けを中心に輸出が伸びたことから、主にASA COLOR LEDを始めとした自動車関連製品の受注が、海外向けを中心に増加しました。スポーツ用ゴム製品の卓球ラケット用ラバーは既存製品の販売が引き続き好調に推移しております。また、機能製品であるRFIDタグ用ゴム製品の受注も堅調に推移いたしました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は21億9千1百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。またセグメント利益は2億2千万円（前年同四半期比53.5%増）となりました。

#### 医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、前期は顧客の在庫調整等により減少していた一部の医療用ゴム製品の受注が当期より回復してきたことから、売上高は増加いたしました。一方、下期に量産化を予定している新規製品の立上げにかかるコスト負担等により営業費用が増加いたしました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は5億6千2百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。また、セグメント利益は1千4百万円（前年同四半期比77.4%減）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて1億7千4百万円減少の5億7千万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは8千6百万円の収入（前年同四半期は8千7百万円の収入）となりました。

これは主に売上債権の増加額4億8千3百万円（前年同四半期は7千3百万円の減少）があったものの、税金等調整前当期純利益1億1千5百万円（前年同四半期は5千5百万円）、減価償却費1億8千1百万円（前年同四半期は1億7千2百万円）及び仕入債務の増加額1億9千4百万円（前年同四半期は4千2百万円の減少）等によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億5千7百万円の支出（前年同四半期は2億4千5百万円の支出）となりました。

これは主に定期預金の払戻による収入11億6千万円（前年同四半期は11億8千4百万円の収入）があったものの、定期預金の預入による支出12億1千5百万円（前年同四半期は11億7千5百万円の支出）、有形固定資産の取得による支出1億9千4百万円（前年同四半期は2億4千9百万円の支出）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは4千9百万円の収入(前年同四半期は1億7千8百万円の支出)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出6億2千4百万円(前年同四半期は5億3千8百万円の支出)があったものの、長期借入れによる収入7億円(前年同四半期は4億円の収入)によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、4千2百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動について重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,500,000
計	11,500,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,618,520	4,618,520	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数500株
計	4,618,520	4,618,520	-	-

(注)平成25年9月24日開催の取締役会決議に基づき、平成25年12月2日を効力発生日とし、単元株式数を500株から100株に変更する予定であります。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	4,618	-	516,870	-	457,970

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
伊藤 潤	埼玉県さいたま市緑区	942	20.41
伊藤 巖	埼玉県さいたま市緑区	222	4.82
朝日ラバー従業員持株会	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7-2	182	3.95
朝日ラバー共栄持株会	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7-2	177	3.84
株式会社南日本銀行	鹿児島県鹿児島市山下町1-1	162	3.51
室井 利子	埼玉県新座市	151	3.28
横山 林吉	埼玉県さいたま市緑区	114	2.49
株式会社武蔵野銀行	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目10-8	113	2.45
株式会社東邦銀行	福島県福島市大町3丁目25	97	2.11
株式会社西京銀行	山口県周南市平和通1-10-2	84	1.83
計	-	2,248	48.68

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 70,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,484,500	8,969	-
単元未満株式	普通株式 63,520	-	-
発行済株式総数	4,618,520	-	-
総株主の議決権	-	8,969	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が300株含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社 朝日ラバー	埼玉県さいたま市大宮区土手町2丁目7-2	70,500	-	70,500	1.53
計	-	70,500	-	70,500	1.53

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,982,546	1,940,423
受取手形及び売掛金	1,042,430	1,536,717
商品及び製品	157,648	161,273
仕掛品	175,373	199,994
原材料及び貯蔵品	88,269	88,340
その他	137,310	101,546
貸倒引当金	1,077	1,480
流動資産合計	3,582,501	4,026,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,178,070	1,140,004
機械装置及び運搬具(純額)	1,012,793	988,022
土地	887,802	887,802
その他(純額)	116,020	120,409
有形固定資産合計	3,194,687	3,136,239
無形固定資産	5,180	5,357
投資その他の資産		
その他	731,707	754,285
貸倒引当金	3,422	3,422
投資その他の資産合計	728,285	750,863
固定資産合計	3,928,153	3,892,460
繰延資産	6,753	3,901
資産合計	7,517,409	7,923,177
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	760,589	961,926
1年内返済予定の長期借入金	1,068,949	1,060,658
未払法人税等	6,724	39,438
その他	343,975	279,752
流動負債合計	2,180,238	2,341,775
固定負債		
長期借入金	1,710,913	1,794,804
退職給付引当金	439,414	461,720
役員退職慰労引当金	209,041	216,312
その他	12,012	8,987
固定負債合計	2,371,380	2,481,823
負債合計	4,551,619	4,823,598



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	457,970	457,970
利益剰余金	1,998,377	2,053,196
自己株式	45,609	45,673
株主資本合計	2,927,608	2,982,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,087	72,364
為替換算調整勘定	17,905	44,850
その他の包括利益累計額合計	38,181	117,215
純資産合計	2,965,789	3,099,578
負債純資産合計	7,517,409	7,923,177

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,407,095	2,754,241
売上原価	1,765,623	2,038,632
売上総利益	641,471	715,608
販売費及び一般管理費	553,142	596,347
営業利益	88,329	119,261
営業外収益		
受取利息	940	640
受取配当金	1,884	2,391
補助金収入	-	9,259
雑収入	3,908	6,084
営業外収益合計	6,734	18,374
営業外費用		
支払利息	14,970	11,314
開業費償却	3,043	3,770
為替差損	10,380	-
雑支出	2,280	2,144
営業外費用合計	30,674	17,229
経常利益	64,389	120,407
特別利益		
固定資産売却益	257	33
特別利益合計	257	33
特別損失		
固定資産売却損	21	-
固定資産除却損	2,111	5,022
その他	7,428	32
特別損失合計	9,562	5,054
税金等調整前四半期純利益	55,084	115,386
法人税等	14,619	37,826
少数株主損益調整前四半期純利益	40,465	77,559
四半期純利益	40,465	77,559

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	40,465	77,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,007	16,277
為替換算調整勘定	13,568	62,756
その他の包括利益合計	2,560	79,033
四半期包括利益	43,026	156,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,026	156,593

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	55,084	115,386
減価償却費	172,426	181,800
貸倒引当金の増減額(は減少)	77	384
退職給付引当金の増減額(は減少)	20,350	22,177
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,669	7,271
受取利息及び受取配当金	2,825	3,031
支払利息	14,970	11,314
為替差損益(は益)	393	1,909
有形固定資産売却損益(は益)	235	33
有形固定資産除却損	2,111	5,022
投資有価証券評価損益(は益)	7,428	32
売上債権の増減額(は増加)	73,551	483,555
たな卸資産の増減額(は増加)	27,304	17,384
仕入債務の増減額(は減少)	42,675	194,308
未払消費税等の増減額(は減少)	24,726	16,016
その他	24,814	32,216
小計	228,540	80,015
利息及び配当金の受取額	2,631	2,948
利息の支払額	14,940	12,256
法人税等の還付額	525	20,401
法人税等の支払額	129,321	4,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,435	86,690
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	1,175,000	1,215,803
定期預金の払戻による収入	1,184,197	1,160,200
有形固定資産の取得による支出	249,712	194,560
投資有価証券の取得による支出	1,811	1,878
その他	3,487	5,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	245,814	257,138
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	13,239	-
長期借入れによる収入	400,000	700,000
長期借入金の返済による支出	538,685	624,400
配当金の支払額	22,431	22,420
自己株式の取得による支出	198	64
その他	4,438	3,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	178,992	49,808
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,518	18,446
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	328,852	102,193
現金及び現金同等物の期首残高	1,073,321	672,476
現金及び現金同等物の四半期末残高	744,468	570,283

【注記事項】

( 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 )

( 税金費用の計算 )

税金費用については、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

( 四半期連結損益計算書関係 )

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日 )
給与手当	164,801千円	170,296千円
退職給付費用	13,194千円	11,124千円

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日 )
現金及び預金勘定	1,921,740千円	1,940,423千円
預入期間が 3 ヶ月を超える定期預金	1,177,272千円	1,370,140千円
現金及び現金同等物	744,468千円	570,283千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	22,744	5	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計  
期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月13日 取締役会	普通株式	13,644	3	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	22,739	5	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計  
期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月22日 取締役会	普通株式	13,643	3	平成25年9月30日	平成25年12月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	工業用ゴム 事業(千円)	医療・衛生用ゴム 事業(千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	1,873,990	533,105	2,407,095
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	1,873,990	533,105	2,407,095
セグメント利益	143,787	63,764	207,552

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	207,552
全社費用(注)	119,222
四半期連結損益計算書の営業利益	88,329

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	工業用ゴム 事業(千円)	医療・衛生用ゴム 事業(千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	2,191,650	562,590	2,754,241
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	2,191,650	562,590	2,754,241
セグメント利益	220,664	14,381	235,045

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	235,045
全社費用(注)	115,783
四半期連結損益計算書の営業利益	119,261

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	8円90銭	17円5銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	40,465	77,559
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	40,465	77,559
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,548	4,547

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成25年10月22日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....13百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....3円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月9日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

株式会社朝日ラバー

取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 米村 仁志 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 藤原 選 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社朝日ラバーの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社朝日ラバー及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。